博愛会だより

平成30年3月1日発行　　平成29年度 第4号
社会福祉法人博愛会

知って得する！介護の知識！

～ 居宅介護支援事業所　博愛苑 ～

1月17日「家族のつどい」を開催しました。
当法人の職員4名が講師を務め、「介護技術のコツをプロに教わろう」と題して、「衣服の着脱」「ベッド・車椅子での身体のずれを直す」「ベッド・車椅子間の移乗」の内容で、講義と実技を交えた教室を開催しました。
今回は、その時の「コツ」をお伝えします。

①「衣服の着脱」のコツ
・脱ぐときは動きやすいほうから、着るときは動きにくいほうから。
・必ずひじや手首など関節を支えながら介助する。
・残された身体機能の維持・向上を目指す。

②「ベッド・車椅子での身体のずれを直す」コツ
骨折や床ずれの危険があるので…
・無理に衣服を引っ張らない。
・脇に手を入れて持ち上げない。
・ベッドの高さは、介護者側が中腰にならないような高さまで上げる。
介護する側、される側双方にとって身体への負担が少なく、安全な方法を取ることが大切です。

③「ベッド・車椅子間の移乗」のコツ
膝乗せ移乗や抱え込み移乗、スライディングボード等福祉用具を使って行う場合、車椅子の附属器具（足置き・肘置き）等外せるものは全て外して行うことが安全で負担を軽減して行える介助となります。

誰もが住みよい地域づくり、地域包括ケアの実現に向けた、居宅介護支援事業所として皆様と共に学び、地域貢献していきたいと思っています。
今後もよろしくお願いします。

情　報　通　信

鍋　会

　ご利用者と一緒に鍋を囲む会を開催しました。開催当日は大雪で、朝から「寒いですね…」が合言葉になっていました。とは言っても、鍋を始めると、ホール内は熱気でムンムン！
　途中からは暖房を消して上着を脱ぎ、「暑い、暑い」の大合唱でした。

デイサービスセンター 博愛苑

介護老人福祉施設 博愛苑
～ 新年会の様子 ～

歌を歌ったり
ゲームをして
楽しみました！

新年会

　１月にみのりの里の新年会を行いました。歌のボランティアで『ゴスペルオーブ』の子供たちが来てくれました。歌が終わってからは、一緒にお茶を楽しみました。ご入居者の普段と違う表情や笑顔が見られ、子供達に「おいくつ？」と積極的に話かけられていました。私たち職員も子供達が走り回る様子を見て、元気をもらったような気分になりました。

グループホーム　みのりの里

節　分

　ココ・カラでは、お菓子作りがブームです。子供達が「自分で作れ、楽しく、美味しい」をテーマに、ホットケーキミックスや白玉団子の粉を使ってお菓子作りをしています。
　節分には、食パンを使ってロールケーキを作りました。美味しいロールケーキと子供たちの笑顔で、ココ・カラには福がいっぱい来る予感がします。子供達も回を重ねるごとに上達して、今では、パティシエ顔負けです。おひとついかがですか～

放課後等デイサービス　ココ・カラ

障がい福祉サービス事業所　あそしえ

就労継続支援Ａ型事業の開始から1年が経とうとしていますが、１つ嬉しい報告があります。それは、あそしえＡ型のご利用者が一般就労をされたことです。日々の仕事を自分の自信や技術向上に繋げ、夢に向かって一歩を踏み出されました。就職することがゴールではなく、働き続けることができるように、直接の支援ではなくなりますが、サポートできたらと思っています。

平日は仕事で忙しく、なかなか運動ができていない利用者様が多いことがら、月に1回レクリエーションを兼ねて「みのかや運動処よらいや」へ出かけています。インストラクターの指導を受けながら、楽しく機器を使って、自分のペースで運動しています。初めての時はラジオ体操も表情が固く、動きも今ひとつでしたが、回を重ねるうち身体を動かすだけではなく、表情もほぐれ、笑顔で仕事の時とはまた違う、良い交流ができています。この企画をスタートして3回目ですが、ご利用者の皆様もこのイベントを楽しみにしてくださっています。

鳥取県では、外見からは分かりにくい義足や人工節を使用している方、内部障がいや難病の方、妊娠初期の方など、援助や配慮を必要としている方々が、周辺の方に配慮を必要としていることを知らせることで援助が得やすくなるよう、「ヘルプマーク」を作成し、普及に取り組んでいます。

列車やバスを利用中に外見では健康に見えても、疲れやすかったり、つり革につかまり続けるなど同じ姿勢を保つことが困難な方がいます。

しかし、援助や配慮を必要とすることが外見からはわからないため、優先席に座っていると不審な目で見られ、ストレスを受けることがあります。そういったことがないように、このマークを見かけたら思いやりのある行動をお願い致します。

相談支援事業所　りんく

お 知 ら せ

毎月第２水曜日午後１時から４時までの間、グループホームみのりの里にて「みのかやオレンジカフェ」を開催しています。

カフェという空間を利用して、情報交換を行ったり、悩みを打ち明ける機会を設けることを目的のひとつとしています。

また、認知症判定が可能な「タッチパネル」を設置しているので、認知症の早期発見に役立てることが出来ます。

次回の開催は、3月14日(水)　です。
どうぞ、お気軽にお越しください。

新 入 職 員 紹 介

テーマ：
「自分を動物に例えると？」

新しい仲間と共に一生懸命頑張って参りますので、皆様今後ともよろしくお願い致します。

田中　つぐみ
（グループホーム
みのりの里）
動物：うし
理由：のんびりマイペース
だからです。

森本　幸子
（グループホーム
みのりの里）
動物：くま
理由：よく食べて
よく寝ます。

武良　めぐみ
（グループホーム
みのりの里）
動物：いのしし
理由：猪突猛進なところ
があるからです。

森澤　幸子
（特別養護老人ホーム　博愛苑）
動物:ぶた
理由：のんきな性格で、食べること、
寝ることが好きだからです

野坂　千鶴
（米子市箕蚊屋地域包括支援
センター）
動物：ねこ
理由：1人でボーっとすること
が好きだからです。

発行人/社会福祉法人博愛会　本部長　谷本　栄　　企画/総務部